

放射能対策プロジェクト

放射性物質による不安を解消し、安心して暮らせるまち

目 標

福島第一原子力発電所からの放射性物質拡散による
汚染被害への対策に努め、安全・安心な暮らしを守ります。

放射能対策プロジェクト

放射性物質による不安を解消し、安心して暮らせるまち

放射能対策プロジェクトとは

「東日本大震災」に起因して発生した、福島第一原子力発電所事故に伴う放射性物質の拡散は、環境汚染や健康不安、さらには農林畜産物や観光等に対する風評被害など、市民生活の様々な面に影響を及ぼしています。

そのような状況の中、市民の不安解消と風評被害などを払拭することが栗原市の重要課題であり、市が放射能被害に対して“今できること”を積極的に実践し、市民生活の安全・安心を取り戻すため、「放射性物質による不安を解消し、安心して暮らせるまち」を、第2次総合計画期間における放射能対策プロジェクトとして位置付けるものです。

目標

福島第一原子力発電所からの放射性物質拡散による汚染被害への対策に努め、安全・安心な暮らしを守ります。

具体的な取り組み

◎ 測定監視と迅速な情報公開

市独自に市内の複数箇所での大気中の放射線量測定をはじめ、子育て施設や教育施設の園庭や校庭での測定を継続するほか、学校給食の食材や水道水、農林畜産物、上下水道汚泥中の放射性物質の測定も継続実施し、監視体制を維持します。また、測定結果はすべてホームページで公開し、安全・安心な子育て・教育環境の提供と、市民の不安解消に努めます。

◎ 市民の健康不安の解消

市が独自に設置したホールボディカウンタによる放射性物質内部被ばく線量測定の実施により、市民の健康不安の解消に努めます。

◎ 安全・安心な農作物の生産対策

農作物の放射性物質吸収抑制対策などを実施し、農家等が安心して生産に取り組める体制を支援します。

◎ 保管牧草等対策

微生物による汚染牧草の堆肥化実験結果を踏まえた、保管牧草の処理を進め、保管の長期化を心配する農家等の不安解消を図ります。

◎ 農産物等の風評被害の払拭

関係機関と連携したイベント等を開催し、栗原産農林畜産物等の安全・安心を全国にPRして風評被害の払拭と消費拡大を図ります。